

# 舟橋中学校で「ネットルールづくりグループワーク」を開催

～生徒自らがネットルールづくりを進めることで、ネット利用を学ぶ～

北陸情報通信協議会、総務省北陸総合通信局及び富山県教育委員会は、平成29年6月7日(水)、舟橋村教育委員会が主催する、中学生等によるネットトラブル防止のための「ネットルールづくりグループワーク」を共催しました。

近年、SNS等のソーシャルメディアが若年層にも普及し、利用する児童・生徒の日常生活への悪影響やネット上への不用意な投稿によるトラブル等を心配する声が聞かれます。本グループワークは、スマートフォンなどからのネット利用のルールについて、生徒たち自らが考える場として開催したものです。

生徒たちは4つのグループに分かれて、兵庫県立大学 竹内 和雄 准教授の指導のもと、兵庫県立大学ソーシャルメディア研究会大学生スタッフ5人からのアドバイスを受けながら、事前実施したネット利用に関するアンケート結果を分析し、ネット利用の現状や課題及びその改善方法等について意見を出し合い、各グループから分析結果を発表しました。

続いて、ネットに潜む問題点について「時間」「人間関係」「危険」という3つのテーマに分け、注意喚起を促す標語を各グループから1つずつ提案し、全員の投票により「スマホ三か条」を決定しました。

当日は生徒、教育関係者等約45名の参加があり、参加した生徒からは、「今日のイベントで舟橋小・中学校におけるメディアの使用状況及び改善すべき点があった。議論結果を踏まえ、今後より良い三か条を策定したいと思った。」等の感想の声が聞かれました。

## 【舟橋中スマホ三か条】

- 一. ゲームしてレベルアップ成績ダウン
- 二. 「大嫌い」打ってしまえば戻らない
- 三. いい人も仮面を外すと犯罪者



指導する竹内准教授



アンケートの分析結果を発表



「舟橋中スマホ三か条」を提案

※グループワークには 舟橋小学校の児童も参加しました。